



# IPBank

IPBankは、IP文化産業生態システムのための一連のインフラストラクチャにを構築し、IP権利の確定、権益のデジタル化、取引、クラウドファンディング、スマートブローカーなどの機能を提供し、コンテンツ産業が新しいコミュニティ化という伝播方法の下での発展の特徴に適応する。

## 白書 V1.0





# 目次

## 目次

1. 概要	1	4. ロードマップ	16
1.1 文化産業の将来性と問題点	1	5. 組織	17
1.2 ブロックチェーン	1	6. トークン分配	17
1.3 ビジョン	2	6.1 トークン分配比率	17
2. アーキテクチャ	3	6.2 資金予算	18
2.1 概要	3	7. チーム	19
2.2 生態役割及びニーズ	3	8. リスク警告と免責事項	20
2.3 基礎機能及び業務の流れ	4		
2.3.1 基礎機能	4		
2.3.2 業務の流れ	5		
2.4 生態利益	8		
2.5 Tokenメカニズム	9		
3. 技術解決案	10		
3.1 技術アーキテクチャー概要	10		
3.2 業務体系	11		
3.3 主要技術コンポーネント	13		
3.3.1 分散された取引市場	13		
3.3.2 信頼できるタイムスタンプ	14		
3.3.3 分散されたストレージ	14		



## 1. 概要

### 1.1 文化産業の将来性と問題点

経済と社会の発展にと共に、品質と精神の需要が毎日増し、その日常支出の中で実物消費比率は低下しつつであり、価値の認めに基づく情報消費、文化消費、娯楽消費、知識消費など精神的な消費が旺盛に要求されている。

IP産業（Intellectual Property、知的財産権）はちょうどその機会での消費のアップグレードの需要を迎合します。インターネット技術の支持で、コンテンツの生産や伝播モードは大きく変化しました。誰でもコンテンツの生産者、発見者、伝播者および消費者になることができます。高品質のIPを中心に、テレビ、文学、ゲームや週刊など多くの分野をまたがって多元ビジネスシステムはなっています。大量のコアユーザーの支持のもとで、その産業規模は数十億ドルになりました。例えば、漫画市場には今日本で毎年約十億冊の雑誌と単行本を販売し、市場規模は既に四千億を超え、読者数も五千万人を及び、日本総人口の40%を占めています。韓国政府は更に「文化をもって国家を建てる」を戦略として、一連の政策を作りました。韓国の先進なITと“韓流”がよく結合することを成功させ、韓国の国際地位も高めました。韓国のコンテンツ産業の売上は70億ウォンを越えました、2016年に韓国国内アイドル市場では核心層+それらの派生市場規模は3兆ウォンを越えました。

インターネットの技術はIP産業の生産力をエスカレートしたが、生産関係はまだ上世紀のモードです。複雑なマーケティングのモードによって産業チェーンが長すぎて、経営効率の低下、新しい内容生産方式が対応できないで、一連の課題をもたらす：

著作権確認コスト高いです。著作権の使用の混乱、海賊版の頻発に対して、IPの持ち主は十分な登記事項証明書を提供して自分の権益を守ることが難しい。

市場はヘッダークリエイターと成熟作品に注目しすぎて、早期クリエイターは現金化ルートを得ることができません、金融支援を得ることができません

製品は、創作から販売までの流れが長すぎて、さまざまな中間コーナーで大量の時間とお金を消費しています。

決算とかかわる方が多くて、手続きが面倒で、トラブルが多いです。

.....

### 1.2 ブロックチェーン

ブロックチェーンは暗号アルゴリズムをベースに分散台帳技術の一つです。同じコンセンサスメカニズムに基づいて、複数センターのシステムで改竄や偽造できない帳簿を構築します。ブロックチェーンが初めて



ネットワークの中で信頼されていない信頼問題を解決しました。暗号アルゴリズムに基づいて価値を改竄できないことを保証します。ハッシュチェーンやタイムスタンプメカニズムに基づいて、データの遡及性を保証します。合意アルゴリズムに基づいて、ノード間でブロックデータの一致性を保証します。

チェーンブロックはその以上の特性で信頼なしの価値移動を支えます。ビットコインは最初のブロックチェーンシステムとして、十年以来の繁栄発展は最高のコメントでした。知能の契約はチェーンでより複雑な操作を執行することに基礎を提供します。そしてスマート経済の萌芽ができました。信頼なし化、仲介なし化と既存の業界の結合は輝かしい火花をできて、産業の効率アップと生産方式に変更する可能性を提供します。

## 1.3 ビジョン

IPBankは分散するIP産業インフラを構築したいのです。権益の通証化を通じてIPの流動性を向上させ、IP資産の十分に流通する経済システムを確立します。コンテンツ産業のコミュニティー化特徴のリソース組織形態を探索します。IP産業の健全な発展を促進します。同時に、これも多くIP受け手にブロックチェーン業界を接触と熟知させる機会を与えて、産業の普及と発展に重要な意義を持つ。



## 2. アーキテクチャ

### 2.1 概要

IPBankはIP総合的な生態資源に力を入れて、一連の便利な商業インフラを構築し、IP権利確認、権益デジタル、取引、クラウドファンディングとスマート仲立ちなどの機能を提供し、IP権益の通証化を実現し、柔軟な流通プログラムを提供し、。新しい伝播方法の社会的発展の特徴に適応し、参加者間のWIN-WIN勝利を達成し、生態の持続的な成長を促進する。

### 2.2 生態役割及びニーズ

生態の中で主要な活動が以下のように3種類で分けています：生産、販売、消費。その中に、生産はさらに創造的な生産（IPオリジナル、モバイルゲーム、アニメ、映画制作、周辺商品設計などの二次創作）と非創造的な生産（印刷品、周辺商品の工業生産などの機械的な仕事）に分けられています。そこから派生したいくつの役割：クリエイター、非クリエイティブプロデューサー（以下は生産者という）、販売者（機構やルートの運営を通じて、最終的に販売、現金化組織と個人、例えば本の出版会社、映画の宣伝配給会社）、消費者（投資者）、お互いは取引を通じて接続する。

IP生態の中の人あるいは機関ごとに1種類か何種類のキャラクター属性をもっています。様々な属性に対してIPBankはそれぞれの特徴や需要を分析しています。

**クリエイター：**コンテンツの源として、クリエイターはかけがえのない性を持ち、消費者と一緒に生態の需給の両端を構成して、生態の核心のものとなる。

- 1、 権利確認は難しい。**伝播方式のアップグレードにつれて、クリエイターにより大きな舞台を提供するのだが、これにも深刻な海賊版問題を招きました。既存の権利確認手段はほとんど手続き煩雑で、そしてコストが高くて、クリエイター自分の合法的権益を守ることができません。
- 2、 換金が難しい。**どんな業界にとっても資本は発展の重要な要素です。しかし、資金はIP産業に対する関心がヘッダーに集まっています。多くのクリエイターは、換金する手段が不足で、そして相当数の潜在力のIPは途中で失敗しました。
- 3、 創作サイクルが長く、資金のプレッシャーが大きいです。**多くのIP製品の創作はいつまで成功するわけではありません。特に映画制作が大量の時間がかかります。そして、期間の費用は、クリエイターが負担し、資金のプレッシャーが大きいです。
- 4、 信用不足、取引トラブルが多い。**現在のコンテンツ産業では、IP製品の換金は一連の複雑な中間部分を通じて現金化にしなければなりません。ほとんどのクリエイターは仲買人と比べて弱い立場にあります、支払サイクルは長い、信用保証はない、そしてトラブルが後を絶ちません。



**クリエイター、販売者：**主な言葉権と大部分の収益を身につけた。しかし、伝播コストは技術の発展につれて低下し、長持ちした流量は、最終的には優れた内容に依存しなければならない。産業の透明化、扁平化は生態の発展に有利であり、中間者役の淡化はほぼ必然となっている。どのように身分を転換させ、分布式商業のインフラとなっており、クリエイターのために標準的なモジュール化サービスを提供し、内容の生態の拡張を推進することは、彼らが考えなければならない問題である。

- 1、 **決済が複雑で、紛争が多発する。** 既存のIP生態モードでは、作品の創作、生産と販売に及ぼし多く参加者、決済過程にくどい、取引のトラブルが多発、大量の人力と時間を消耗し、コスト効率低下です。
- 2、 **市場の予想は不明で、セールのプレッシャーが大きい。** 強烈な審美の価値を認めて基礎の上にIP製品の消費のコミュニティを構築し、特定の群体に合わない製品はほとんど消費衝動を起こしません。伝統的な販売方式は視聴者規模を正確に判定することができなくて、生産とセールスに大きな不確実性をもたらすことができません。

**消費者：**生態製品のエンドユーザー。

**参加感とコミュニティニーズ。** 伝播とインタラクティブのアップグレードで、消費者は受動IP製品を満足できません。より良いインタラクティブ体験と参加感を獲得するために、自発的な伝播、インタラクティブ甚だしきに至っては二次創作、さらに共通の価値観の形成と美意識のコミュニティを推進して、関連IPシステムを推進します。

## 2.3 基礎機能及び業務の流れ

### 2.3.1 基礎機能

IP産業のインフラストラクチャとして、IPBankは生態の参加者に以下の機能を提供します：

- 1、 **IP権利登録。**  
ブロックチェーンの著作権に基づいて証明書を保存して、クリエイターは容易に低コストで著作権を登録します。
- 2、 **スマート仲介。**  
スマート契約に基づく利潤分割及び決済システムです。紛争を防止し、各方面の権益を保護する。
- 3、 **IPライセンス及び譲渡。**  
IP所有者は、モジュール化の智能契約を通じて他の機関、個人の権限に対してIPを譲渡することができる。
- 4、 **IP権益トークン化。**  
モジュール化の発行契約を通じて、IP権益を標準化し、チェーン上で転送し、取引できるようにする。



## 5、クラウドファンディング。

権益トークンを目標としてユーザーに向けてクラウドファンディングする。

## 6、権益トークンの流通と取引。

## 7、コミュニティ。

IPBankプラットフォームは、掲示板やライブなどのプレゼンテーションやインタラクティブなツールを使って、クリエイターとファンのコミュニティエコロジーを構築します。生態の発展に伴い、IPB（IPBankToken）は徐々にこのソーシャルネットワークに適用され、コミュニティのメンバーがコンテンツの普及と再作成の利益を受けるとともに、参加意識を高め、生態の発展を促進します。

### 2.3.2 業務の流れ

上記の機能のサポートの下で、1つの完全な業務の流れは次の通りです。

#### 1、IP登録

IP所有者（オリジナルの作成者でない場合は、法的に有効な知的財産権文書が必要）が申請を起票し、IPBank評価審査部または検証ノードによる審査の後、IPのHASH値と現時点の時間による信頼できるタイムスタンプを使って、全部底のブロックチェーンに書き込みます。ブロックチェーンの改ざんできない、偽造できない特性を利用して、この時点でこのIPに制御権を持つ証明を実現します。オリジナルの作成者に将来の著作権を解決するため、有力な法律証拠を提供する。IP内容は、IPFS SCを通じて分散で記録します。IP所有者が管理しやすいです。

急速に注目度を集めるため、IPBank基金会は良質IPにIPB（IPBankToken）を贈ります。良質のIPを加入することを推進します。同時に、早期登録したIPにもある数のIPBを贈ります。オリジナリティーについて、初期はIPBankの評価審査部が審査を実施し、生態の発展につれて、専門の審査ノードに検証を移譲します。審査ノードで検証し、Tokenを獲得することは審査結果を裏書します。もし審査ミスの場合、相応の罰金を支払います。IP創作者と審査ノードは、いずれも実名認証が必要で、その操作の履歴に基づいて信用システムを確立します。

#### 2、IPライセンス及び譲渡

IP所有者がIP登録を完了した後、IP持ち主はIPBankでIPを他の機関、個人に譲渡することができます。譲渡及び許可の履歴は、ブロックチェーンの上に記録されており、改ざんされず、偽造できないなどの特性があるため、証明書として記載されています。また、IP持ち主は、ライセンス記録を検索して、完全なライセンスリスト等を獲得し、許可を管理することができます。高い価値のIPに対して、IPBankは所有者の需要によって、相応の知能契約を設けます。権利と義務を定義し、取引を照合し、ライセンス及び譲渡を完了させる。

IPBankは、取引金額によって一定額のマッチング手数料を請求します。

#### 3、IP権益のトークン化



IPBankはIP権益（製品）を時効型（チケット類）や永久型に分けます。後者はさらに非消費型（オンライン鑑賞、本や週辺製品など）や消耗型（クリエイター時間など）と分けることができます。IPBankは、異なる権益の特徴に基づいて、相応のモジュール化の発行契約を設計し、権益の発行者がすぐそれを標準化し、チェーン上で流通と取引することができます。同時にIPBankはオフラインリソースを統合して現金化ルートを提供するため、資はチェーンの上と下で移動することを実現します。

#### 4、クラウドファンディング

権益トークン化後、IP保有者は前売権などを通じて、資金を募集することができます。

IPBankの評価審査部（経験豊富な業界関係者及び専門的な資産評価チーム）は、その価値とクラウドファンディングの可能性を評価し、クラウドファンディング規模と発行計画を決定することができます。クラウドファンディングは固定価格と変動価格などの複数の価額モードを採用することができます。固定価格は、クラウドファンディング期間で価格が変わりません。複製できる製品は固定価格のモードに適用できます。例：映画クラウドファンディング。該当の映画のチケットは一定の価格に保ちます；変動価格は、クラウドファンディング期間で、参加者の人数が増えることにつれて、製品の価格も引き上げます。変動価格モデルは、リソースが不足なところに適します。例えば、コンサートチケットのご購入など。

クリエイターについて、クラウドファンディングはIPを直接販売することに加えて、現金化のもう一つのルートを提供します。創作を維持したり、あるいは生産、販売およびその他の商業活動のため、募集した資金を使うことができます。クリエイターはビジネス経験が不足の場合は、生態内の基礎施設（生産者、販売者）に連携したい、委託することができます。IPを使用する権利を持つクリエイターと発行元は、クラウドファンディングを通じて資金を調達することによってお金を節約し、販売効率を上げることもできます。

#### 5、取引の流通

取引は、生態のすべての関係者を結びつけ、資源の完全な流れを促進する基本的な方法です。伝統的な流通プロセスは、様々な形のオブジェクトによって、産業チェーンは長くて、手順は複雑で、取引摩擦のコストが高すぎです。権益トークン化後、ウォレット間で移動し、IPBankの分散型取引所で取引することができます。低摩擦の高速取引の基礎を築き、IP保有者に優れた流動性と柔軟的な操作性を提供します。

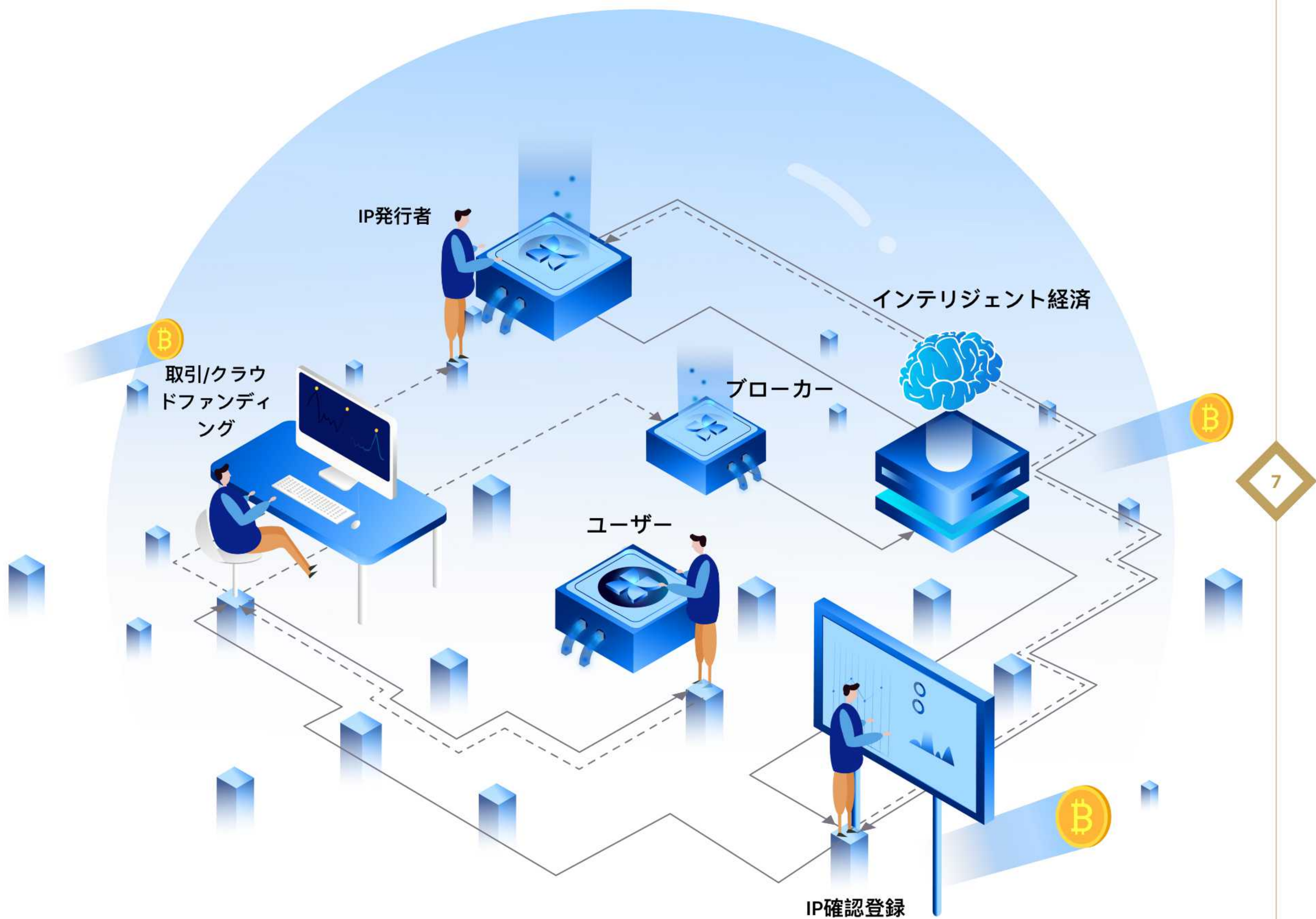
#### 6、商品現金化、決済

IP製品がリリースされた後、株式トークン所有者はトークンを使用して、いつでもクラウドファンディング・イニシエータに製品を引き換えることができます。交換後のトークンは破棄され、イニシエータはアクセプタに交換を委任します。すべての決済はスマート契約による便利に実施し、紛争を避けることができます。



# IPBank

業務プロセス:





## 2.4 生態利益

以上は、完全な業務循環を構成しています。このプロセスでは、IPBankは冗長な業界チェーンを削除し、当事者の間に直接的なポイントツーポイントの接続を確立します。資金は可能な限りIPコンテンツの生産をサポートするために使用されます。プロセスで発生するプロセスおよび摩擦コストは、すべてエコロジー拡大のために使用され、各人はそれから利益を獲得できます。

### クリエイター

**権利確認済み。**ブロックチェーンの改ざんできない、偽造できない特性を利用して、暗号化アルゴリズムとタイムスタンプを結合することで、IPの所有権を簡便に証明し、オリジナルの作成者に強力な法的証拠を提供することができます。

**スマートブローカー。**スマート契約の利益分配および決済システムに基づいて、販売完了即時決済で、多くの人件費および時間コストの節約し、紛争を効果的に回避し、自らの利益を保護します。

**資金支援。**中小規模のクリエイターにとっては、ある程度のトラフィックが集まっても、既存の仕組みでは迅速な収益が得られず、経済的支援の欠如で継続的な創造に影響を与えています。クラウドファンディングを通じて、早期に資金を調達することができ、環境に優しいインフラストラクチャーは、迅速なキャッシュフローチャネルを提供し、心配を解決し、作品制作の手間を軽減します。

**コミュニティ。**普通のファンの平均的な経済と比較して、クラウドファンディングはユーザに共感を強め、コアコミュニティを作るのに役立ちます。また、このプラットフォームは大量のトラフィックを集約し、クリエイターに披露する機会を増やすことができます。

### 生産販売側

ブロックチェーンの導入は短期的には生産と流通のような中間的役割の収益のみに影響するかもしれませんが、IPエコシステムの中で、コンテンツの役割はますます重要であり、多様なメディアの発展によって流通コストは低下しています。仲介の重要性は減少し、“灰色の”収入のこの部分は徐々に消えていきます。

スマート契約管理は契約と決済の紛争を効果的に減らし、多くの人件費と材料費を節約し、資本運営効率を高めることができます。

クラウドファンディングモデルは、コアユーザーを事前に確定することができ、発行者のコストを効果的に削減します。

### 消費者

価値観の上に構築されたコミュニティは、消費者に関与や浸りの体験の感覚を提供します。伝播と二次創作による潜在的な利益をもたらします。

著作権デジタル化と取引は、ユーザーに十分な資産操作性と流動性を提供し、いつでも権利と利益を実現します。



## IP生態

コンテンツは常にIPエコロジーの中心にあり、クリエイターはIPBankで最も全面的なサポートと権利保護を得ることができ、他の要因を考慮せずに創作だけを考えます、これにより、より多くのクリエイターが生態系に参加し、高品質の知的財産を作り、より多くのファンを招いて、生態系全体の活発な発展を促進します。

## ブロックチェーン産業

ブロックチェーンの技術は、ほとんどの人がしりません。そして現在の情報社会では、知名なIPは、多くのファンが集まっています。より多くの人々がブロックチェーンの世界を体験できれば、間違いなく業界の発展に役立つでしょう。

## 2.5 Tokenメカニズム

Token は、生態価値を伝える橋と言われます。IPBankのToken はIPB（IPBankToken）と権益トークンと2つのカテゴリに分類されます。IPBはシステムの基本通貨として、価値移転の媒介であり、スマート契約の執行を推進する原動力です。IPBの幅広い応用によって、与えられた価値の属性は、価値記憶の機能を備えます。さまざまなビジネスシナリオで、IPBには以下の機能があります。

### IP登録の許可

IP所有者は、IPを登録する際に、燃料として一定のIPBを支払い、契約を実行し、独自のIP著作権を発行する必要がある。

IP保有者は、認証および確認の時、サービス料として、一定のIPBを支払う必要があります。

### 権益トークン化

IP権益生産者は、権益トークン化する時、燃料として一定のIPBを支払う必要があります。

### 権益クラウドファンディング

IP権益の生産者は、権益トークンを目的にして、ユーザーに向けてクラウドファンディングを行う時、燃料として一定のIPBを支払う必要があります。

IPBは、基本的な基礎通貨であります、参加者は、IPBをクラウドファンディング契約に転換してから相応の権益トークンを引き換えます。

### 取引の流れ

権益トークンは、IPBANKの取引所で取引を行うことができます。IPBは取引の基礎通貨である。

IPBANKは、各取引の中から一定の手数料を徴収し、IPBで支払うと、一定の割引を得ることができる。

権益トークンには、IP著作権トークン、配当権トークン、電子チケット、オンライン商品およびサービストークンが含まれますが、これらに限定されるものではなく、IPBANKはそれらに対する完全な償還メカニズムを構築します。エコロジーの発展に伴い、より多くの種類の株式トークンが出現する可能性があり、IP資産のデジタル化と流通の可能性が高まっています。



## 3.技術解決案

### 3.1 技術アーキテクチャー概要

IPBankは、ブロックチェーンの上に構築されたdAppアプリケーションです。IPの登録、発行、許可、大衆計画、取引などの業務を実現します。従来の中心化技術によって構築されたIP発行プラットフォームに比べて、ブロックチェーン技術の分散型、開放、透明、改竄不可能などの特性に基づいて、IPBankが所有者の権益を保護し、価値を効率的な移転することができます。スマート契約に基づいて、より低いコストでより高い効率でIP発行取引などの業務を完了することができます。

技術アーキテクチャでは、IPBankは階層設計のアイデアを使用し、各フロアはさまざまな独立した作業、完全に分離されたレイヤーを完成させ、柔軟にビジネス開発をサポートすることができます。IPBankは、下から上への4つの層構造に分かれています。それはシステム基礎層、コアロジック層、ビジネス層とクライアント層です。





# IPBank

各層の機能について以下に説明する。

システム基本層は、上位ビジネスロジックをサポートするIPBankのインフラストラクチャです。基本システム層には、信頼できるタイムスタンプ、ブロックチェーンゲートウェイ、ブロックチェーン、および分散ストレージが含まれています。IPBankはEthereum上に構築され、将来は実際のニーズに基づいてブロックチェーンゲートウェイを介して異なるブロックチェーンにアクセスする予定です；

コア論理層は、システムの主要ロジックルールを実現します。IPBankのコアロジック層はスマートコントラクトに基づいて構築されています。さまざまな機能によって、スマート契約は、以下のように分けています。登録など、システムにIPを作成して証明書として使います。取引スマートコントラクトはIP許可と入金する機能を実現します。その他のタイプのスマートコントラクトは証明書やトランザクション以外の機能を実行します。

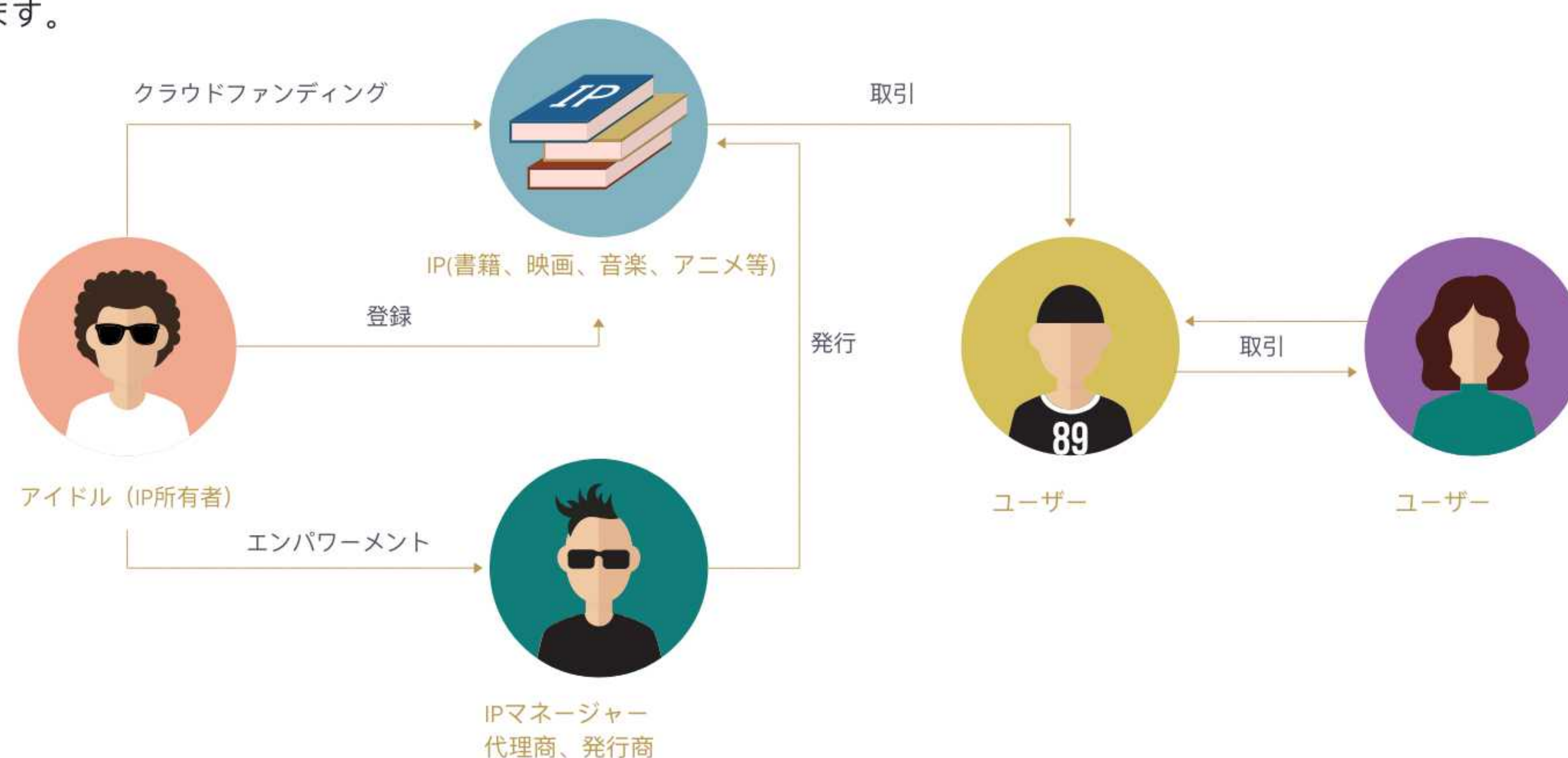
ビジネスロジック層は、IP登録、ライセンス、流通、取引、クラウドファンディングなどのIPBank具体的な業務を処理するためのシステムのサービス層です。ビジネスロジック層は、インテリジェントな契約ゲートウェイを介してコア論理層にアクセスし、アクセスゲートウェイを介して上位アクセス層にサービスを提供します。

クライアント層は、ユーザがIPBankにアクセスするためのツールであり、ユーザはクライアント層でIPBankの様々なオペレーションを実行します。IPBankは、WebおよびAppクライアントを提供して、IP持ち主、ブローカー、エージェント、ディストリビューター、消費者などにIPBankのさまざまなサービス機能を使うことができます。同時に、クライアントはウォレット機能を統合して、ユーザーのトークンを管理します。

さらに、IPBankは、書籍やビデオ共有アプリケーションやオフライン映画などの既存のシステムとの容易な統合のため、豊富なインターフェイスも提供しています。標準Restfulインターフェイスを使用してアクセスコストを削減します。

## 3.2 業務体系

IPBankのユーザー役割には、主にIP持ち主、販売者（ブローカー、代理店、プロデューサーなど）および消費者（エンドユーザー）が含まれます。IP持ち主はIPBankにIPを登録します。そしてIP持ち主は、彼らのブローカー、エージェント、発行者などがIPを使用しIPBankTokenを取得することを承認することができる;発行者はIPBankTokenを転送してIPを取得するエンドユーザーにIPを発行する出版家が発行する映画のチケット電子書籍などのIP製品、IP所有者はエンドユーザーのクラウドファンディングのために立ち上げることができ、同時に、消費者はさまざまなIP製品を取引することができます。



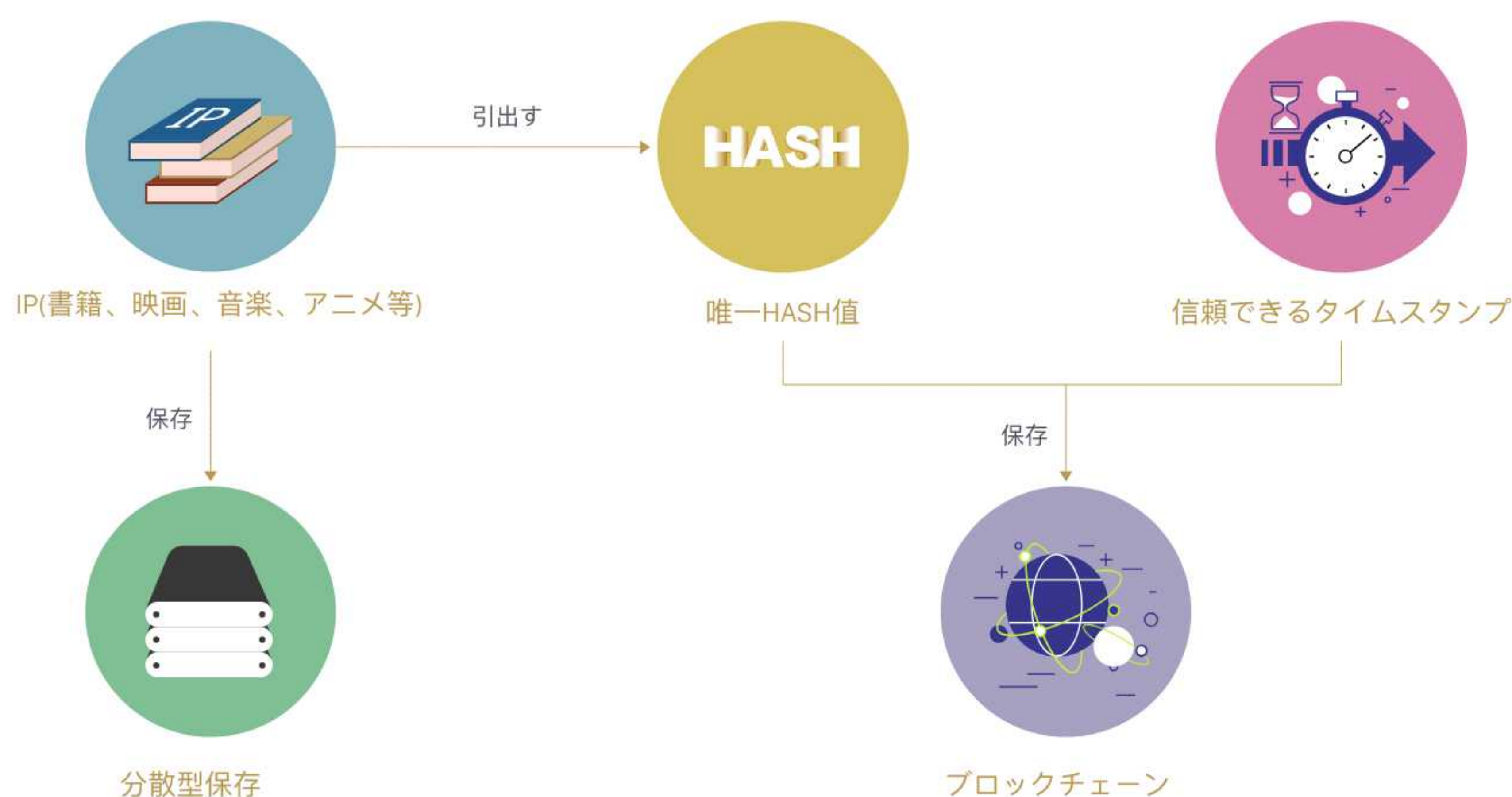


# IPBank

## IPBankの主要なビジネスモジュール:

### 1、登録

IP登録とは、IP保有者がIPBankでIPを作成するプロセスです。登録する時、IPハッシュ値と現在の時刻を使用して信頼できるタイムスタンプを基になるブロックチェーンにまとめます。改ざんできず、偽造されないブロックチェーン技術によって、IP登録者はこの時点でこのIPを管理する権利を持つため、IP著作権紛争を解決することができます。星間ファイルストレージシステム（IPFS）を介して、IPコンテンツは、IPBankの分散型ストアにアップロードされ、IP保有者はIPを簡単に管理することができます。



### 2、IP許可

IP許可とは、IP保有者がトランザクションを通じてIP使用权を移転し、購入者にIPを使用する権限を付与し、IPBankTokenを取得するプロセスを指します。権限の証明として、改ざんや偽造ができない機能を持つIP認証の記録がブロックチェーンに記録されます。さらに、IP保有者は、権限レコードを照会して、権限管理を簡単に行うことによって、完全な権限リストを取得することもできます。

### 3、取引

取引とは、IP販売者がエンドユーザーとエンドユーザーとの間でIP権利とIPBankTokenを交換するプロセスです。IPの取引可能性は、IPの持分を保有する者に大きな流動性を提供し、IP株式を保有するリスクを低減する。その間、知的財産権取引はブロックチェーンに完全に記録され、所有者には著作権の完全証明が提供されます。



#### 4、スマートコントラクト

IPBankに登録されているIPは、スマートコントラクトによって自動的に取引ルールを処理することができます。取引が完了するたびに、IP所有者と売り手の利益分配比率が自動的に決済されます。

#### 5、クラウドファンディング

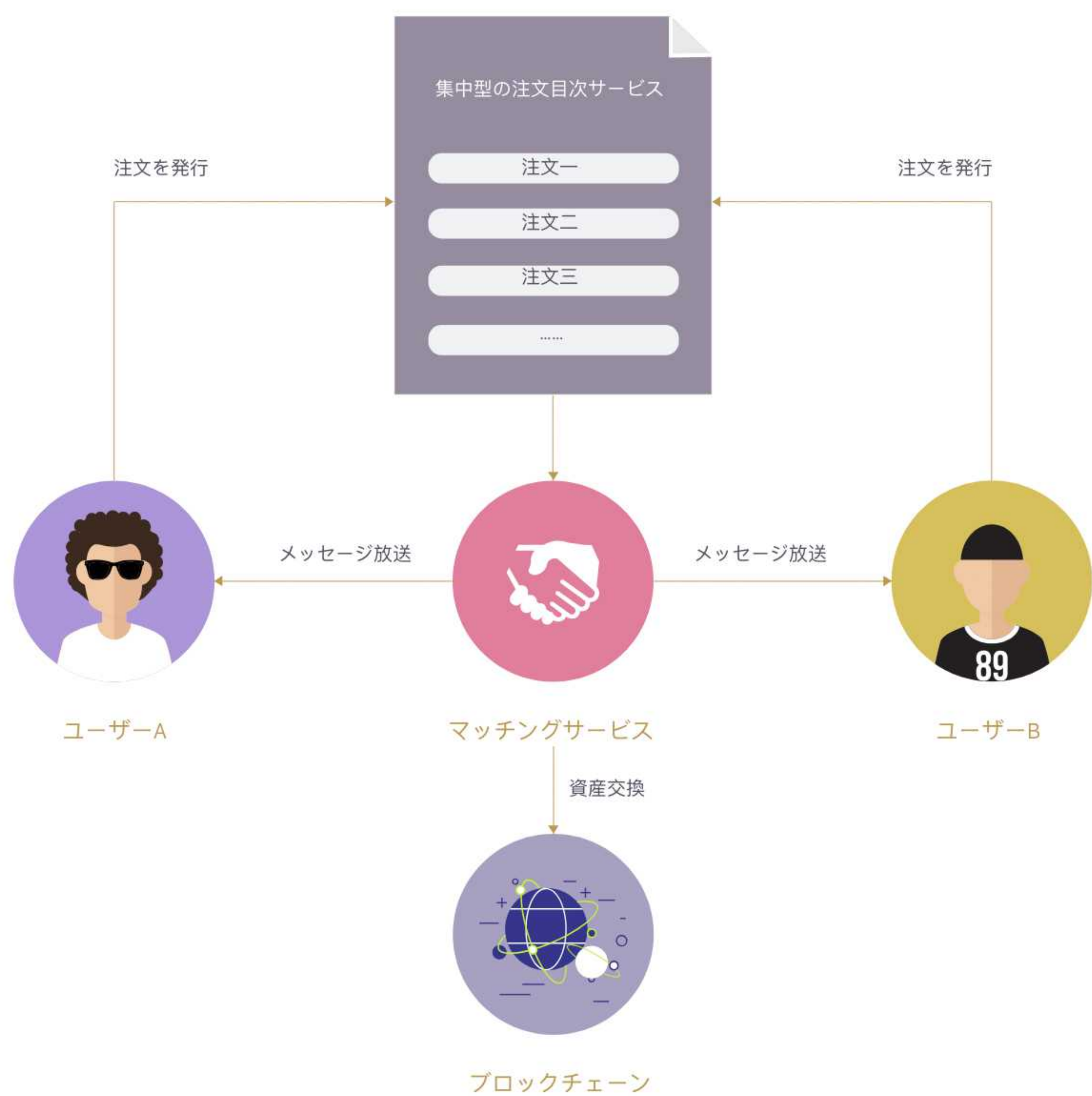
IPの創作人や発行者は、クラウドファンディングの方法、価格設定方法、クラウドファンディング量を柔軟に設定できます。みんなの計画によって、IPの創作人や発行者は、早期に資金を獲得して発展することができる、ユーザー層の位置を正確に位置づけることができ

### 3.3 主要技術コンポーネント

#### 3.3.1 分散された取引市場

IPBankは、流動性を提供するために、IP売り手とエンドユーザーがIP製品を取引できるIBEM（IPBank Exchange Market）を提供しています。IBEMは分散型設計を採用しているため、ユーザーのトークンをホストしていないので、トークンはユーザーのウォレットに格納されています。集中トランザクションやハッキングの影響を受けやすい技術リスクを回避できます。

IBEMは、集中型オーダーディレクトリを採用し、チェーンの下でマッチングし、チェーン上で取引することにより、取引パフォーマンスとセキュリティのバランスを実現します。

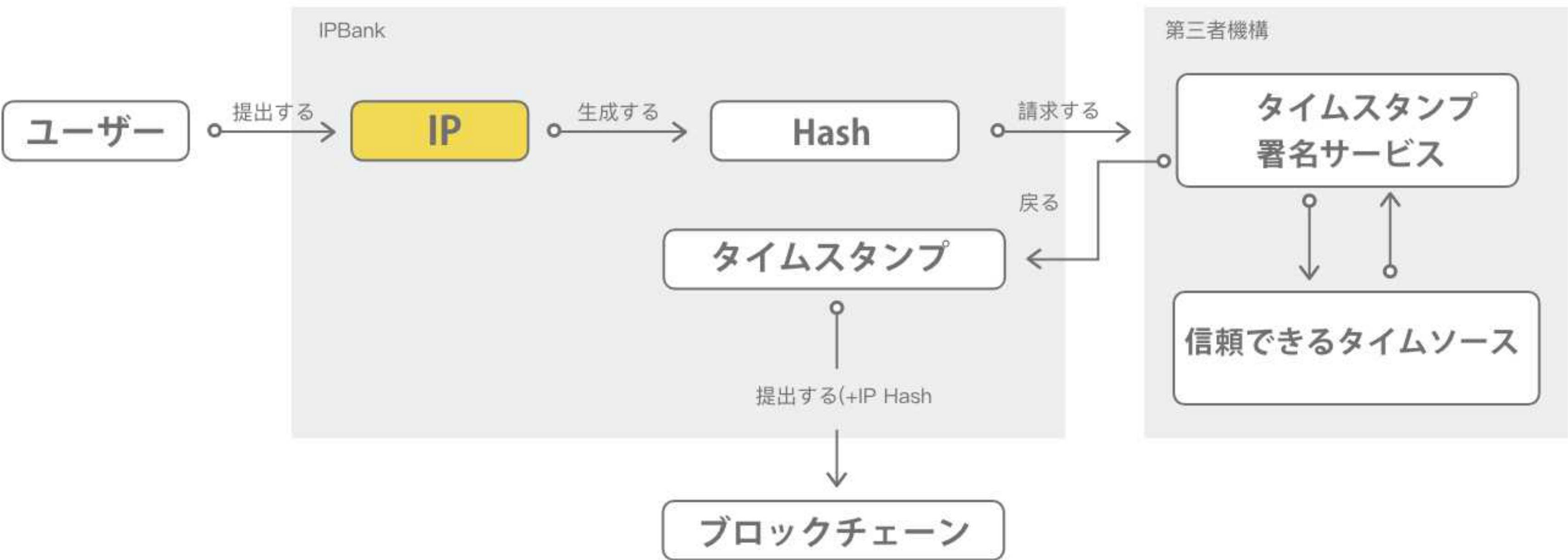




### 3.3.2 信頼できるタイムスタンプ

時間は、知的財産権の所有権を認定する時、重要な概念です。法律では最初のリリース者はIPの所有者であると主張します。IP HASHが付随するタイムスタンプは、国家の権威機構からタイムスタンプサーバーです、デジタル証明書があり、偽造や改竄ができないため、IP発行の時間を正確に示すことができます、法律の効力を備えます。

その技術的な原理は、IPのHASH値と信頼性がある時間のデータ源を連鎖することで、国家の授時中心が時間を授かって、時間を守ります、そして、信頼できる第3のタイムスタンプ機構により、IP HASH値と信頼の時間を記録し、デジタル署名の後、タイムスタンプとなります。信頼できるタイムスタンプによってIP生成の正確な時刻が分かります。



### 3.3.3 分散されたストレージ

セキュリティ・信頼性のあるIPのために、IPBankは分散型のストレージIBDS（IP Bank Decentralize Storage）・サービスを提供しています。IBDSの最下層は、分散型のストレージ技術の構築に基づいて、封入権限の管理、暗号化コンポーネントなどを通じて、IPバンクの業務シーンに適応させます。既存の分散型のストレージは、IPFS、SC、storjなどが含まれていますが、我々は、IPFSを例として、IDSの組立方式を紹介します。

InterPlanetary File System（IPFS）は、分散型のポイントツーポイントのハイパーメディア配信プロトコルで、ここ数年の最高の分散システムのアイデアと、全世界的に統一されたアドレス指定可能なアドレスを組み合わせています。IPFSの誕生は、HTTPプロトコル、伝送の非効率性、およびデータ損失に基づいて、集中化されたネットワークサービスの問題を解決することを目指しています。

現在のHTPPプロトコルと比較して、IPFSには次のような特徴があります。

#### 1、分散化：

IPFSファイルシステムには集中型サーバーはなく、IPFS内のファイルは複数の小さなデータブロックに分割され、IPFSのP2Pネットワーク内の複数のノードに格納されます。同時に、ファイル保管の信頼性を保証するために、ファイルは複数のコピーを同時に異なるノードに保管します。IPFSは、これらのバックアップされたファイルを自動的に管理し、ファイルストレージの信頼性とストレージ効率のバランスを最良にします。



## 2、コンテンツアドレス指定:

IPFSコンテンツベースのアドレスがドメインベースのアドレスを置き換えます。つまり、ユーザーはアドレスではなく、どこかの場所に格納されたコンテンツに対処します。HTTPプロトコルでは、ユーザーがファイルを検索すると、まずファイルが格納されているサーバーの場所（IPアドレス）が検索され、サーバーにファイルパスが要求されます。このシステムでは、ファイルの場所はサーバーマネージャーによって異なり、ユーザーはファイルが移動されていないことだけを期待できます。サーバーは閉じられません。IPFSベースのコンテンツ・アドレッシング・システムでは、ファイルの名前とパスを考慮せずに、ファイルの内容を気にする必要があるファイル・ストレージ・サーバーを気にすることはできません。

## 3、高い伝送効率:

集中型HTTPプロトコルでは、ユーザーは毎回ファイルを取得する時、リモートサーバーを取得する必要があります。IPFSでは、ユーザーがファイルを要求する時、まずユーザーの隣人にファイルがあるかどうかを確認します、このファイルは、より多くのユーザーが同じファイルを要求すると、伝送効率が高くなります。P2Pビデオ伝送により、帯域幅の60%を節約できます。

## 4、高いセキュリティ:

IPFSでは、ファイルの分散ストレージにより、中央サーバーのクラッシュやシャットダウンによるファイル廃棄の心配がなくなり、インターネットバックボーンへの過度の依存を軽減します。ファイルはIPFSに永続的に格納され、ファイルの変更によってファイルバージョンが作成され、IPFSは複数のノードがファイルの異なるバージョンを保存できるファイルバー



## 4. ロードマップ





## 5. 組織

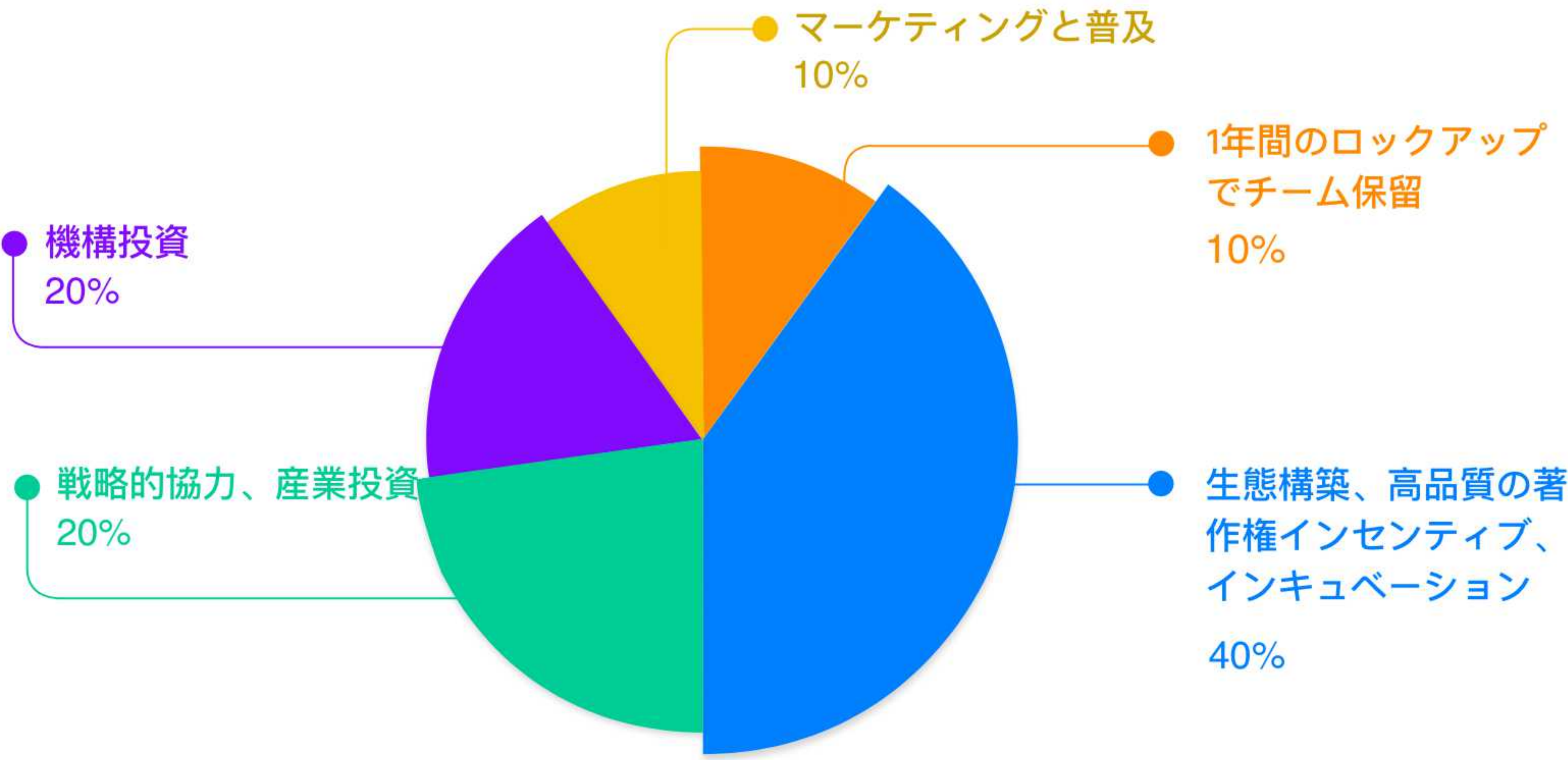
IPBankの主体は、英国領バージン諸島（(The British Virgin Islands, B.V.I)に登録されており、その組織構造には、取締役会および日常業務があります。その中で、取締役会は会社の事業開発企画と重要な提案の決議を決定する機関です。取締役会の下には、技術開発部、評価審査部、協力事業部、およびマーケティング部等を設置しております。

## 6. トークン分配

### 6.1 トークン分配比率

IPBの総量は10億で、オンラインする前でerc 20標準トークンで使います。割り当ての割合は以下のとおりです。

- 20%： 機構投資
- 10%： マーケティングと普及
- 40%： 生態構築、高品質の著作権インセンティブ、インキュベーション
- 20%： 戦略的協力、産業投資
- 10%： 1年間のロックアップでチーム保留





## 6.2 資金予算

### 技術開発 40%

IP登録と発行メカニズムの設計、コアスマート契約開発、IPFSストレージネットワーク構築、分散型IP交換設計と開発、第三者システムアクセス。

### 生態建設および商業運営 30%

品質IP著作権とクリエイター導入、伝播プラットフォーム統合、早期コミュニティ構築、宣伝とプロモーション、マーケティング、主要な主要取引所とのビジネスコラボレーションなどを実施します。

### 日常メンテナンス 15%

製品リリース後の定期的なメンテナンスと安全、オフィススペースリース、スタッフ採用、法務および財務コンサルティング。

### 予備金 15%

上記のものを除く緊急事態およびその他の財務項目のための資金の一部を準備する。基金会が責任を負います。



## 7. チーム



**Malcolm Tan**

IPBANK CEO

IT、金融業界で豊富な経験を持つ、ベテランの法務専門家である、アジア太平洋地域、中東、北アフリカ、北米などグローバルとローカルの法律顧問を務めた。ブロックチェーンの初期投資家として、Bioは、業界に関連する法的及び規制方針について深く理解している、Gravitas.Financial（挑戦者銀行）、Malcolm Tan Chambers LLCなどのコンサルティングサービス会社を設立した、Dapp開発、法律顧問、電子財布、資産信託、保険などのデジタル資産の業界に技術、法律などのフルサービスを提供している。



**Mark Friedler**

IPBank CTO

メディア、ゲーム、企業のクラウドサービスとブロックチェーンの業界で豊富な経験を持つ、GameDaily（米国のオンライン/タイムワーナーに買収された）の創設者/最高経営者である。Oracleデータクラウドとマーケティングクラウド上級研究員、Swarm.fund、XTrade、Cappasity、Cashbet、PryzeとBobs Repair、Vertex Market、Aegis Custodyなどのプロジェクトに技術と運用サポートを提供し、ブロックチェーンの技術コミュニティの責任者としてSF CryptoMondaysを主催しており、CryptoOracleと綿密な協力を行う。



**Maarten van den Bos**

IPBANK COO

経験豊富なマーケティングのリーダーシップであり、ヨーロッパ、アフリカ、北米、アジアのグローバル企業で管理とマーケティングを担っており、たくさんの企業にグローバルビジネスネットワークを構築し、チームワークと多様性にユニークな見解を持っている、産業とリソースの統合の専門家である。



**Alexandre Geurreau**

IPBANK CPO

ベテラン弁護士であり、フランス語（LLBとLLM）と英語（LLM）弁護士資格を持つ、MAS法とAEI、FATCAとUSPP法規に精通しており、著作権業界の運営規則及び法律のソリューションによく理解している。



## 8. リスク警告と免責事項

このホワイトペーパーは、IPBankによって提案されたIP資産エコシステムとIPBankTokenを説明する概念文書としてのみ役立つものであり、IPBの販売または購入に関する意見はありません。テキストの情報と分析は、投資勧誘とはみなされず、投資意思や掘り起こしを構成するものでもありません。関連する意思決定者はIPBank / IPBに関連するリスクを明確に理解しており、投資家が投資に関与すると、このプロジェクトのリスクを認識し、容認しています。ホワイトペーパーは、外部環境と研究開発の進捗状況が変化し続けるにつれ、内容はいつでも変更または置き換えられる可能性があることを説明し、義務を知らせるためのイニシアティブを取らなかったため、関連するルートで最新情報をお取りください。

### 注意事項

IPB（IPBankToken）が任意の管轄権やその他の規制製品に有価証券を構成するものではありません、このホワイトペーパーでは、あらゆる種類の目論見書またはオファー文書を構成するものではありません、また、任意の管轄権やその他の規制製品に有価証券を構成するものではありませんオファーまたは要請します。

このホワイトペーパーでは、確認するために、任意の規制管轄権を経由せず、投資助言を構成するものではありませんし、いかなる契約や購入決定のための基礎として使用するべきではありません。

社は、本書に記載された情報、声明、意見およびその他の事項の正確性または完全性に関して、または他の方法で伝達されることについて、表明または保証をしません。私たちの力の将来像または概念的記述による達成または妥当性のアサーションまたは保証。この記事のいかなる内容も将来の約束や表現の基礎としてはなりません。

法律に適用される最大の範囲内では、本白書のいかなる関係者またはいかなる方面によって発生するか、あるいはそれに関連するいかなる損失（予見できるかどうかを問わず）、そのすべての責任はすべて免除される。可能性があるが、完全に免除されない責任の範囲は、法律によって許される最大の限度に限られる。

このホワイトペーパーは、特定の組織または組織を指すものであり、説明のためだけのものです。

あなたは、税金や会計関連の事項を含む、必要な専門家の助言に耳を傾ける必要があります。

IPBankが成功することを願っていますが、成功を保証することはできず、デジタル資産投資のリスク要因も高いです。リスクと手頃な価格を必ず評価してください。



# IPBank

## リファレンス

- 1、 Juan Benet "IPFS - Content Addressed, Versioned, P2P File System(DRAFT 3)"  
<https://github.com/IPfs/papers/blob/master/IPfs-cap2pfs/IPfs-p2p-file-system.pdf> 2014
- 2、 Vitalik Buterin "A Next-Generation Smart Contract and Decentralized Application Platform" Ethereum  
<https://github.com/ethereum/wiki/wiki/White-Paper> 2015
- 3、 Adams, et al. "Internet X.509 Public Key Infrastructure Time-Stamp Protocol (TSP)" RFC 3161 August 2001
- 4、 中国国家标准化管理委员会 "GB/T 20520-2006 信息安全技术 公钥基础设施 时间戳规范" 2006
- 5、 中国国家标准化管理委员会 "GB/T 25064-2010 信息安全技术 公钥基础设施 电子签名格式规范" 2010
- 6、 Will Warren, Amir Bandeali "Ox: An open protocol for decentralized exchange on the Ethereum blockchain"  
[https://Oxproject.com/pdfs/Ox\\_white\\_paper.pdf](https://Oxproject.com/pdfs/Ox_white_paper.pdf) February 21, 2017